

事業所名

生活クラブ風の村重心通所さくら・児童発達支援 支援プログラム(居宅訪問型児童発達支援)

作成日

2025年

3月

1日

法人(事業所)理念	<p>私たちは、一人ひとりの個性と尊厳を尊重し、基本を大切にした質の高い支援を目指します。          私たちは、地域の皆さんと共に、誰もがありのままにそのらしく地域で暮ることができるようなコミュニティづくりに貢献します。          私たちは、情報公開、説明責任を大切にするとともに、希望と働きがいがある職場を、自らが参加してつくります。</p>						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体性を中心に据えよう ～決めつけず、まずは気持ちを確認する～</li> <li>・「never say never」～できないと決めつけない～</li> <li>・「関心」こそが専門性 ～サインを見逃さない～</li> <li>・医療的ケアは本人の生活の一部 ～医療的ケアは“特別”じゃない～</li> <li>・あなたとわたしはパートナー ～わたしたちは共生している～</li> </ul>						
営業時間	終日時	9時30分	から	15時30分	まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭での生活環境を尊重し、生活の中で何に重点を置いているかを引継ぎ時や計画作成時等には必ずご家族に必要な情報をヒアリングします。その上で利用時に体調の確認、家庭での様子等を伺い、当日の過ごし方や支援の内容を適宜判断して対応します。</li> <li>●ご本人の健康状態を第一に考え、体調によっては活動内容や時間を変更したり、活動を中止したりと柔軟に対応します。</li> <li>●医療的ケアのある利用者は、数値の変化などに特に注意を払い、ご家族と情報共有を図ります。</li> <li>●必要に応じて看護師を訪問させて、ご本人の状態などを確認して訪問支援員と共有します。</li> <li>・「体温・体調確認」…訪問時に体温・サチュレーション・体調を確認します。また必要に応じて随時行っています。</li> <li>・「スヌーズレン」「バランスボール」「音楽活動」等…緊張を緩和することで側弯等を防止し、健康な身体を守ります。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発育に必要な「頸のすわり」「寝返り」「姿勢変換」「お座り」「ハイハイ」「つかまり立ち」などを行えるようになるため、本人に応じた正しい姿勢を維持するサポートをします。</li> <li>●「リラクゼーション」として本人にあったマッサージ・ストレッチ・座位や歩行訓練等、必要に応じてリハビリ職を訪問させ、助言を得ながら共通の課題に取り組みます。</li> <li>・「音楽活動」等…音を感じて楽しみながら緊張を弱めたり、機能向上できるよう支援します</li> <li>・「バランスボール」…平衡感覚を養います</li> <li>・「ポジショニング」「座位」「立位」「歩行」…抗重力姿勢をとり、足底で体重や重力を感じるとともに、側弯の予防に努めます</li> <li>・「制作活動」…紙や粘土、絵の具、筆などに触れたり絵の具の色を選んだりして、様々な感覚を感じ取る機会を提供します。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初めて見るもの触れるものを体験すること、五感や経験を積むことでご本人の世界を広げられるよう支援します。</li> <li>●季節を感じる習慣を身につけることで生活の楽しみを増やせるよう支援します。</li> <li>●支援者がこれから行おうとすることを言葉やツールを用いて説明し、本人が理解した上で、主体的に行動できるようにします。</li> <li>・「散歩」…可能であれば外出し、気候、草花、匂いから季節を体感できるよう支援します。</li> <li>・「制作活動」…季節の制作物を訪問支援員と一緒に作る活動を通して、様々なものに触れたり、知る機会を提供します。</li> <li>・「各種ゲーム」…訪問支援員やご家族と一緒にゲームをして、競争、成功、失敗、ルールを理解・体感し、喜怒哀楽を表現できるよう支援します</li> <li>・「感覚遊び」…様々な感触・知覚を身体に入れて、認知力を高められるよう支援します</li> </ul>					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニケーションの発育過程を理解して視覚、言語、社会性、遊びでの成長に寄り添った支援をします。</li> <li>●本人の意思表出を見逃さないよう訪問する職員間で情報共有しサインを共有認識します。</li> <li>●本人が理解できるツール(言葉、視線入力、絵カード等)や言葉を選択して用いることで、コミュニケーションの成立とその楽しさを伝えます。</li> <li>●支援者がこれから行おうとすることを言葉やツールを用いて説明し、本人理解のもと、行動する事で本人と支援者のコミュニケーションを大切にします。</li> <li>●できたことは褒めてできなかったことは努力したことを認めたうえで信頼関係を築きます。</li> </ul>					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NICU退院後初めての福祉サービス利用であることも多いため、まずは本人が訪問支援員等に慣れるところから始め、可能であれば事業所への通所や登校を目標に支援します。</li> <li>●可能であれば通所事業所等との関係もち、他の子どもとの関わる機会を提供するようにします。</li> <li>・「制作活動」…通所事業所と共通の制作物に取り組み、一体感を味わいます。</li> <li>・「テレビ電話」「お試し通所」…通所事業所の利用者や短時間の関わりを体験します。</li> </ul>					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族との訪問時のやり取りの他、日頃から電話連絡、メール連絡を大事にして、やり取りをこまめにすることで、お互いが気軽に相談できる関係性を作っていきます。</li> <li>・急用や家庭の事情などで追加利用にも可能な限り対応していきます。</li> <li>・ご家族の不安や疑問点などを聞き取るようにし、必要に応じて看護師やリハビリ職、その他専門職を訪問させてその解消に努めます。</li> </ul>				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能であれば通所事業所への通所や学校への登校ができるように、相談支援事業所や関係各機関と連携を図って進めます。</li> <li>・体調等に応じて、訪問と通所(登校)を織り交ぜながら支援し、無理なく通所や登校へ移行できるよう支援します。</li> </ul>	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所や併用事業所、学校、医師等と適宜情報共有し、必要に応じて担当者会議を呼び掛け参加します。</li> </ul>				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が疑問に思ったことなどには迅速に解決できるよう研修や話し合い等行います。</li> <li>・定期的に内部研修を行います。(月一回以上)</li> <li>・外部研修やe-ラーニングにも積極的に参加できるような体制を取ります。</li> </ul>	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の制作を行い、可能であれば通所事業所と連携したイベントを開催します。</li> </ul>						